

## JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	ネパールの地方医療における医療情報管理を通じた医療の質向上支援
2. 活動国・地域	ネパール国 ラメチャブ郡 リクタマコシ村
3. 事業分野	開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業
4. 事業の目標	リクタマコシ村の医療施設における医療情報管理体制を改善し、提供できる医療の質を向上させること。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	医療施設では紙カルテで医療情報を管理しているが、患者が再診の際に渡されたカルテを持参する割合は10~20%と低く、大半の医療情報が失われている。その結果、過去の診療履歴に基づいた適切な医療の提供が困難となっているので、医療の質を向上させる医療情報管理体制の構築が急務である。
6. 事業の意義・目的	適切な医療情報管理体制を構築し、過去の診療記録に基づく正確な医療の提供を実現する。既存の地域保健スタッフ事業との情報連携により医療サービスの質を向上させるための基盤を整備する。
7. 主な対象者（受益者）	直接受益者:対象となる2つの医療施設（Health Post）のスタッフ合計約20名 間接受益者:対象となる2つの医療施設（Health Post）の受診者合計約60名/日
8. 実施期間	2026年4月~2027年2月
9. 活動内容	1. 現状把握と計画策定: 現地調査とヒアリングに基づき、業務のデジタル化の範囲を決定する。 2. 導入準備: 自治体や医療施設との合意形成を行い、ソフトウェアのカスタマイズと導入準備を進める。 3. 段階的な導入と研修: 対象2施設にソフトウェアを導入し、現地スタッフへの研修を実施後、トライアルから本格運用へ移行する。 4. 情報連携: 既存の間診アプリとデータを連携させ、より高度な情報管理を行うための基盤構築を目指す。
9. 事業費	1,000,000円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	特定非常利活動法人 ASHA
2. 主な活動内容	ネパールの僻地において、デジタル技術を活用し、医療情報管理支援や地域保健スタッフ制度の構築を通じて、住民が主体となる持続可能な医療提供モデルの創出を目指している。また、現地中学生への健康教育や、日本国内での高齢者見守り活動も行っている。